

## 調査委員会における調査研究報告書

教科名（英語）

No.1

調査研究の観点	所 見		
	発行者（東京書籍） 発行者番号（2）	発行者（開隆堂出版） 発行者番号（9）	発行者（学校図書） 発行者番号（11）
1 内容	<p>①家族・学校生活などの身近なテーマや自然科学、外国文化やユニバーサルデザインなど、内容はバラエティに富んでいる。</p> <p>②アクティビティが少なく、共同作業が少ない。</p> <p>③発展的内容が少ない</p> <p>④第1学年の最初のページで「I'm」などの短縮形を使っていない。</p>	<p>①身近なテーマは比較的少ないが、落語や回転ずし、外国文化など内容はバラエティに富んでいる。</p> <p>②言語活動の素材がしっかりしている。会話や対話活動が豊富に盛り込まれている。</p> <p>③英文は比較的難易度が高い。</p> <p>④第1学年の最初のページで「I'm」「He's」などの短縮形を使用しており、第1学年で短縮形の扱いが早い。</p>	<p>①クラス・学校生活などの身近なテーマやアニメ、マンガ、世界遺産、音楽など多彩な題材を取り上げている</p> <p>②多彩な活動、題材を取り上げている。</p> <p>③英文自体は標準的な内容である。</p> <p>④be動詞の導入で「I'm」「He's」などの短縮形を使用している。</p>
2 構成・分量	<p>①学習内容の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年（be動詞、一般動詞、三単現、代名詞、進行形、疑問詞、一般動詞の過去形）</li> <li>・第2学年（be動詞の過去形、過去進行形、look形容詞、未来形、不定詞、助動詞、接続詞、There is、動名詞、比較）</li> <li>・第3学年（受動態、現在完了形、不定詞結果用法、不定詞を含んだ表現、後置修飾、関係代名詞）</li> </ul> <p>接続詞をまとめて指導するところが特徴的。第3学年次に不定詞の結果用法のみ独立して教える。</p> <p>②第1学年の教科書でbe動詞が最初に出てくる。</p> <p>③巻末にある「基本文一覧」「不規則動詞一覧」「単語のまとめ」などは見やすく、分かりやすい。</p> <p>④単元ごとのページが多い。1つの単元の文章量が多いので、内容の豊富さに欠ける。</p> <p>⑤新出単語が1か所にまとまっている。</p> <p>⑥会話文と説明文の量のバランスはよい。</p>	<p>①学習内容の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年（be動詞、一般動詞、命令文、複数形、代名詞、三人称単数現在形、can、現在進行形、疑問詞 what、規則動詞、不規則動詞の過去形）</li> <li>・第2学年（過去形、過去進行形、未来表現、There is 構文、不定詞、動名詞、look形容詞、比較、受動態）</li> <li>・第3学年（現在完了形、不定詞を含んだ表現、分詞の後置修飾、関係代名詞）</li> </ul> <p>第2学年次に受動態に触れるのが特徴的。第1、第2学年次に多くのことを早めに教え、第3学年の内容を少なくしている。</p> <p>②第1学年で最初に扱う動詞がbe動詞になっている。</p> <p>③巻末資料の内容は非常に豊富である。特に発音記号に関するページが分かりやすくまとめられている。</p> <p>④各単元の間にある「Power up」はリーディング・ライティングリーディングの教材としてレイアウトがよく、写真やイラストも見やすく使いやすい。</p> <p>⑤新出単語が1か所にまとまっている。</p> <p>⑥第1・第2学年の教科書では会話文が多く、第3学年の教科書では説明文が多い。全体的なバランスはあまりよいとは言えない。</p>	<p>①学習内容の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年（一般動詞、be動詞、命令文、疑問詞、三人称単数現在形、can、現在進行形、一般動詞の過去形）</li> <li>・第2学年（be動詞の過去形、look形容詞、過去進行形、未来表現、助動詞、不定詞、動名詞、比較、if）</li> <li>・第3学年（受動態、不定詞を含んだ表現、現在完了形、後置修飾、関係代名詞）</li> </ul> <p>第3学年次の分量がやや多めである。</p> <p>②第1学年次に一般動詞から指導が始まる。</p> <p>③巻末資料の内容は非常に豊富である。特に文法のまとめのページ「Check it out」は見やすく、復習に便利である。</p> <p>④各単元の間にある「Chapter Project」や「Talking Time」はスピーキング・ライティングの教材として見やすくまとめられている。</p> <p>⑤新出単語が1か所にまとまっている。</p> <p>⑥会話文と説明文の量のバランスはよい。</p>
3 表記・表現	<p>①英語の歌（第1学年4曲、第2学年2曲、第3学年2曲）を収録されている。</p> <p>②各課の目標が日本語でまとめて記載されている。</p> <p>③音読の回数が分かる表記がない。</p>	<p>①英語の歌（第3学年3曲、第2学年3曲、第1学年4曲）を巻末に収録されている。</p> <p>②各課での目的が日本語で詳しく明記してある。</p> <p>③音読活動の回数が分かるように工夫されている。</p>	<p>①英語の歌（第3学年3曲、第2学年3曲、第1学年3曲）各単元の間収録されている。</p> <p>②各課のはじめに目的がまとめて日本語で記載されている。</p> <p>③音読の回数が分かる表記がない。</p>
4 使用上の便宜	<p>①サイズが大きく手に取りやすい。</p> <p>②「Presentation」のページはよく工夫されており、非常に分かりやすい。</p> <p>③「Activity」のページも「聞く」ことを中心に分かりやすく、取り組みやすい構成になっている。</p>	<p>①サイズが大きく手に取りやすい。</p> <p>②英語で「できるようになったこと」リストがあり、目標をもった指導ができる。</p> <p>③「Reading」や「Extensive reading」のページでは、新出単語ははじめから意味が付されており、親切である。</p>	<p>①サイズが他教科の教科書サイズの合わせており、管理がしやすい。</p> <p>②「Reading」のページは分量・難易度共に標準的である。</p> <p>③「Chapter Project」や「Talking Time」はライティングやスピーキングの教材として使いやすい。</p>

## 調査委員会における調査研究報告書

教科名 (英語)

No.2

調査研究の観点	所 見		
	発行者 (三省堂) 発行者番号 (15)	発行者 (教育出版) 発行者番号 (17)	発行者 (光村図書出版) 発行者番号 (38)
1 内 容	<p>①身近なテーマ (家族・学校生活など) やスポーツ、歴史上の人物や世界遺産など、内容はバラエティに富んでいる。特に錦織圭選手についての紹介文があるなど、多彩な題材を取り上げている。</p> <p>②多彩な活動、題材を取り上げている。</p> <p>③発展的な内容が多い。</p> <p>④第1学年の最初のページで「I'm」などの短縮形を使っていない。また、Lesson1でBe動詞にしっかり重点を置き、一般動詞へと移行している。</p>	<p>①身近なテーマ (クラス・学校生活など) やインターネット、歴史、アニメや修学旅行など、内容はバラエティに富んでいる。高梨沙羅選手についてやウェアラブルコンピュータについての記述があり、最新の話題を載せている。</p> <p>②アクティビティが少ない。</p> <p>③英文自体は標準的な内容である。</p> <p>④第1学年の最初のページで「I'm」などの短縮形を使っていない。また、Lesson1・2でBe動詞にしっかり重点を置き、一般動詞へと移行している。</p>	<p>①中学生の日常や学校生活になじみのないテーマ設定が多い。</p> <p>②工夫を凝らした活動が盛り込んである。</p> <p>③一文一文が長く、難解なものが多い。</p> <p>④第1学年の最初のページで「I'm」「He's」などの短縮形を使用しており、英語の文字に初めて関わる生徒にとっては理解しづらい。</p>
2 構成・分量	<p>①学習内容の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年 (be動詞、一般動詞、複数形、代名詞、疑問詞、3人称単数現在形、can、現在進行形、過去形)</li> <li>・第2学年 (過去形、未来表現、there is構文、動名詞、look形容詞、不定詞、比較、受動態)</li> <li>・第3学年 (受動態、現在完了、関係代名詞、後置修飾、不定詞を含んだ表現)</li> </ul> <p>受動態を第2学年末から取り入れ、第3学年の初期にかけて扱っている。関係代名詞→後置修飾という指導体系が特徴的である。</p> <p>②第1学年で最初に扱う動詞がbe動詞になっている。</p> <p>③付録にある「基本文のまとめ」「不規則動詞一覧」「会話表現」「比較表現のまとめ」などは見やすく、分かりやすい。</p> <p>④「Get」のページはよいが、「Read」のページは分量が多い。</p> <p>⑤新出単語が1か所にまとまっていない。</p> <p>⑥第2学年の教科書で会話文と説明文の量では、説明文の量が圧倒的に多い。</p>	<p>①学習内容の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年 (be動詞、一般動詞、三単現、代名詞、命令文、疑問詞、can、現在進行形、接続詞、過去形)</li> <li>・第2学年 (過去形、未来形、助動詞、I think、when、過去進行形、動名詞、there is、不定詞、様々な助動詞)</li> <li>・第3学年 (受動態、現在完了形、不定詞を含んだ表現、後置修飾、関係代名詞)。</li> </ul> <p>オーソドックスな構成である。</p> <p>②第1学年で最初に扱う動詞がbe動詞になっている。</p> <p>③付録にある「重要構文リスト」「不規則動詞一覧」「比較変化表」などは見やすく、分かりやすい。</p> <p>④各単元の間にある「Tips」はリーディング・ライティング リーディングの教材としてシンプルに分かりやすくまとまっている。</p> <p>⑤新出単語が1か所にまとまっていない。</p> <p>⑥第1・2学年の教科書では会話文が多く、第3学年の教科書では説明文が多い。全体的なバランスはあまりよいとは言えない。</p>	<p>①学習内容の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年 (be動詞、一般動詞、代名詞、一般動詞、can、現在進行形、疑問詞、一般動詞の過去形)</li> <li>・第2学年 (過去形、過去進行形、未来形、不定詞、比較、助動詞、受動態)</li> <li>・第3学年 (現在完了形、後置修飾、接続詞)。</li> </ul> <p>第2学年次の指導内容に受動態が入っている。</p> <p>第2学年次の分量が多い。関係代名詞を後置修飾としてまとめているのも特徴的である。</p> <p>②第1学年の教科書でbe動詞と一般動詞が最初に出てくる。</p> <p>③巻末付録の情報量は必要最低限であり、「基本文のまとめ」などのページは割愛されている。</p> <p>④単元内のページごとに「Try it」という活動のページが付属している。</p> <p>⑤新出単語が1か所にまとまっている。</p> <p>⑥会話文と説明文の量のバランスはよい。</p>
3 表記・表現	<p>①英語の歌 (第3学年2曲、第2学年3曲、第1学年3曲) 巻末に収録されている。</p> <p>②各課に目的が日本語でまとめて明記されている。</p> <p>③音読回数がかかる表記がない。</p>	<p>①英語の歌 (第1学年2曲、第2学年2曲、第3学年2曲) を収録されている。</p> <p>②各課に対して目的が日本語で明示されている。見開き1ページごとに目的の記載があり、6社の中では一番細かい。</p> <p>③音読の回数がかかる表記はない。</p> <p>④別冊で単語の演習帳が巻末に付いている。</p>	<p>①英語の歌 (第1学年3曲、第2学年2曲、第3学年2曲) を収録されている。</p> <p>②各課の目標が日本語でまとめて記載されている。</p> <p>③音読の回数がかかるように工夫されている。</p>
4 使用上の便宜	<p>①サイズが大きく手に取りやすい。</p> <p>②「Let's Listen」のページは分かりやすく、使用しやすい。</p> <p>③「Use」や「Project」のページは難しく、使用には工夫が必要である。</p>	<p>①他教科の教科書サイズに合わせており、管理がしやすい。</p> <p>②本文がシンプルで、内容理解にかかる時間が短くて済む。</p> <p>③「Reading Lesson」のページは非常に分量が多く、使用には工夫が必要である。</p>	<p>①サイズが大きく手に取りやすい。</p> <p>②「CLIL」というページでは給食や携帯電話をテーマにした表現活動に取り組むページとしてよく工夫されている。</p> <p>③「Let's Read」は読み物として内容はよいが分量が多く、使用には工夫が必要である。</p>